

## 北大病院循環器内科に心不全治療のため入院し 治療を受けた患者さんへ（臨床研究に関する情報）

北海道大学大学院 循環病態内科学では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、北大病院において、通常の診療で得られる診療記録や検査結果を分析することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

[研究課題名] 心不全救急診療における心エコー法活用意義の検討

[研究機関・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属]

辻永 真吾（北海道大学大学院 医学研究院 心不全医薬連携開発学分野 特任助教）

[研究の目的]

心疾患による死亡は日本の年間総死亡の約15%に当たる20万人にもおよび、心不全による死亡や身体障害は、社会の高齢化とともに、今後、ますます増えることが予想されています。心不全の重症度や治療効果の正確な判定は、侵襲的に身体にカテーテルを挿入し、心内圧（心臓の中の圧）を直接測定することにより行われます。非侵襲的に評価する方法として心臓超音波検査（心エコー検査）および肺エコー検査がありますが、未だに精度が高く簡便で、幅広い心疾患の患者さんに対して使用できる心不全の評価法は確立されておらず、新たな指標の構築が試みられています。そこで、私たちは、心臓の僧帽弁や三尖弁という弁の開放の時間差を視覚的に評価する方法や肺のエコー所見に注目し、いろいろな心疾患の患者さんの心不全の程度を非侵襲的かつ簡易に評価する方法を考案しました。この方法が心不全の重症度を精度よく推定できれば、心不全診療の質の向上につながります。

[研究の方法]

●対象となる方

2021年4月から2025年3月の間に心不全が疑われて心エコー・肺エコー検査が施行された成人の患者さん。

●利用するカルテ情報

1. 診療記録から、年齢、性別、身長、体重、診断名、病歴、家族歴、身体所見、血液生化学的検査結果、血漿中の脳性ナトリウム利尿ペプチド（BNP）濃度、N末端プロ B 型ナトリウム利尿ペプチド（NT-proBNP）、治療内容、入院された方は退院前の心エコー

一検査所見やその後の経過や退院までの日数を調査させていただきます。

2. 初診時の心エコーおよび肺エコー検査所見、胸部レントゲン検査所見を調査し、最終的に心不全と診断されたか否かを調査します。

#### [研究実施期間]

病院長による実施許可日～2026年3月31日（登録締切日：2025年3月31日）

#### [個人情報の取り扱い]

本研究の実施にあたり、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。研究に利用する患者さんの情報に関しては、研究担当者が北海道大学病院内で診療記録や心エコー検査記録を収集した後、お名前、ご住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除した上で管理いたします。また、研究成果を学会や学術雑誌などに発表する予定ですが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

#### [連絡先]

札幌市北区北15条西7丁目

北海道大学大学院 医学研究院 心不全医薬連携開発学分野

特任助教 辻永真吾（研究責任者）

電話：011-706-6973, FAX：011-706-7874